

平成26年6月1日
今週のベストショット



雁ノ巣軟式4 奈多クラブ 対 三苦三球会戦

奈多クラブ相手に粘りのピッチングを見せた三球会吉留投手（左）とサヨナラヒットを放った原口選手（右）。

写真：新町パイレーツ 安部貴大

青松園B ライナーズ、初回一挙に7得点を挙げ、主導権を渡さず

ブルーマーリンズ（3敗）00000 0 横山●、綱脇一中村

雁ノ巣ライナーズ（3勝）75100 13 鳥越○-竹上

HR：竹上、宇野（雁ノ巣） 2BH：竹上（雁ノ巣） 盗塁：明瀬（旭）、中口（雁ノ巣）

ブルーマーリンズの先発は横山投手、ライナーズの先発は鳥越投手で試合は始まった。一回表、ライナーズ先発鳥越投手はBマーリンズを三者凡退に抑え順調な滑り出しを見せる。一回裏、ライナーズは先頭明瀬（旭）選手が死球で出塁するとすかさず盗塁を決める。続く二番明瀬（航）選手がセカンドのエラーを誘い1点を先制。そして次の打者の内野ゴロの間に1点、五番久保田選手のライト前ヒットで更に1点を追加。更に七番竹上選手が右中間を抜ける3ランを放ち3点を追加。ライナーズは攻撃の手を緩めず打者一巡し二番明瀬（航）選手がきれいにセンター前に抜けるタイムリーを放ち、この回ライナーズは一挙7得点を挙げる。二回表、マーリンズは六番井上（優）選手がセーフティバントで出塁するも後続が続かず点を入れることが出来ない。二回裏、ライナーズは再びBマーリンズ横山投手を攻め、六番有馬選手、七番竹上選手、二番明瀬（航）選手のタイムリーで5点を追加。三回裏、マーリンズは横山投手から綱脇投手に交代。しかし、ライナーズはいきなりライナーズ四番宇野選手がレフト頭上を大きく越えるフェンスオーバーのソロHRを放ち、隙のない攻撃を見せる。マーリンズは何とか点を返したいが五回表、六番代打浜崎選手が出塁すると代打小柳選手が見事に鳥越投手の球をセンター横に弾き返し二死二三塁とチャンスメイク！しかし、マリナーズの攻撃もここまで。後続が内野ゴロに抑えられ五回コールドゲームセットとなった。初回、球が定まらないマリナーズ横山投手を責め立て、確実に得点を重ねたライナーズの打線は見事だった。（記事：三友クラブ 駄原孝一郎、写真：大坪和則、山本健一）



ライナーズ先発の鳥越投手。



ブルーマーリンズ先発の横山投手



一回裏、右中間にHRライナーズ七番竹上選手。



一回裏、タイムリーのライナーズ二番明瀬(航)選手。



二回表、セーフティーバントを決める六番井上(優)選手。



二回裏、レフト前を放つライナーズ六番有馬選手。



二回裏 二塁打を放ったライナーズ七番竹上選手。



三塁封殺を狙うBマーリンズ井上(優)遊撃手と末松三塁手。



三回表、盗塁を狙うも惜しくもアウトの末松選手。



三回裏以降登板したBマーリンズ綱脇投手。



三回裏、左柵越えを放つライナーズ四番宇野選手。



五回表、見事にセンター前を放ったマーリンズ小柳選手。



見事なオーバーフェンサー、ライナーズ宇野選手。

青松園A 全ては初回の攻防！？藤田投手、圧巻の10奪三振！

三苦フレンズ（0勝3敗0分）10011 3 山口●、生野拓一佐藤
 新町ウインズ（1勝2敗1分）6130X 10 藤田○ー永渕

HR: 生野拓、御手洗（三苦フ）、城戸（新町ウ） 3BH: 野田（新町ウ）

一回表フレンズは一番生野拓選手のレフトオーバー本塁打で先制点を奪うと、続く二番西山選手がセンター前ヒットで出塁する。三番佐藤選手は四球を選び、四番山口選手のレフト前ヒットで無死満塁のチャンスを作る。このピンチで目が覚めたのか、ウインズ藤田投手が五番、六番、七番打者を三者三振で追加点を許さない。その

裏ウインズの攻撃は、先頭の桐島選手が四球で出塁しパスボールで二塁へ進塁すると、二番長岡選手のセンター前ヒットで無死一、三塁のチャンス。ここで三番の今林選手の打球はサードへ。しかし、三塁手が一塁へ悪送球。三塁ランナーが返り同点にすると、続く二、三塁のチャンスで四番野田選手が左中間へ走者一掃の三塁打を打ち勝ち越しに成功。その後、エラーと七番城戸選手の2ランでこの回6点を奪う。二回以降は、初回の攻撃で流れを掴んだウインズが効率よく追加点を奪い優位に試合を進める。一方フレンズは、藤田投手の前に毎回の10奪三振。四回に御手洗選手の本塁打、五回に山口選手のタイムリーヒットで1点ずつ奪うのが精一杯。初回の攻防が明暗を分ける結果となった。（記事、写真：奈多サンデーズ 野田俊憲）



ウインズ準備万端！



試合前のフレンズベンチ。



左越先頭打者本塁打のフレンズ生野拓磨選手。



サードでチームを盛り上げるウインズ今林孝智選手。



一回表、無死満塁のチャンスで五番生野猛選手。



一回裏、無死二、三塁チャンスで四番野田選手。



左中間へ2ラン本塁打を放ったウインズ城戸選手。



代打出場のウインズ八田選手。



代打出場のウインズ野中選手。



投打でチームを引っ張る山口選手。



フレンズ先発の山口投手。打撃でも2安打1打点の活躍。



10奪三振のウインズ藤田投手。



左中間へ見事な本塁打を放った御手洗選手。

雁レク軟式3 卒のない攻撃で快勝！三苫ホーネッツ

三苫ホーネッツ（4勝）2340011 12 井手○、矢野ー広木

塩浜ジャガーズ（3敗）2000000 2 荒木●ー竹尾、堀内

2BH：山崎、広木（三苫ホ）道喜（塩浜ジ）盗塁：山崎3（三苫ホ）

初回、三苫ホーネッツは先頭山崎選手の二塁打で出塁すると三番矢野の鮮やかなセンター前タイムリー、続く四番広木選手の痛烈なショートへのタイムリーで2点を先制する。しかし、その裏、二死からホーネッツ稲葉選手の悪送球を皮切りに塩浜ジャガーズ稗田選手が内野安打、続く道喜選手の右中間への二塁打で同点に追いつく。しかし、二回表ホーネッツの攻撃の手は緩まない。五番三浦選手が出塁すると松尾選手、今田選手、山崎選手の安打などで3点を追加する。さらに、三回には4点、六、七回にも追加点を挙げたホーネッツが卒のない攻撃で12点の快勝。投げては井手、矢野の無四球継投策で二回以降ジャガーズ打線をシャットアウトした。

（記事：奈多フェニックス 今林文彦、写真：今林英二）



二回以降はジャガーズ打線をピシヤリと押させたホーネッツ井手投手。



この日も3安打。打って走ってよく声を出しての活躍を見せたホーネッツ山崎選手。



鮮やかな先制タイムリー、ホーネッツ矢野選手。



いいピッチングも見せたジャガーズ荒木投手。



ホーネッツの継投策はもう定番、矢野投手。

雁レク軟式4 好投手同士の一戦は劇的な幕切れ！

奈多クラブ（1勝1敗）200200 4 今林瑠●ー高野

三苦三球会（2勝1敗）200102x 5 吉留○ー藤澤

2BH：今林賢人、今林瑠生、今林祐将、安部（奈多ク）

先攻の奈多クラブは一回、二番今林瑠選手の二塁打と相手のエラーで2点先制する。対する三球会も三番藤澤選手とセンター前と相手のエラーとWPで2点を取り返し、互いに同じような展開でゲームが進んでいく。四回には奈多クラブの三番今林祐選手、四番安部選手の連続二塁打と六番砂場選手のライト前で2点リードする。その裏、三球会は四球で出塁したランナーが二ゴロの間に生還し1点を返す。ここまで4-3となる。六回裏、三球会は二死まで追い込まれながらも相手のFCの間に1点を返し同点とする。なおもランナー二三塁とし、打席にはこの日は忙しかったらしく既に脱いでいたスパイクをばたばた履き打席に入った九番原口選手。超多忙な男が振り抜いた渾身の一打はレフト前へ抜けサヨナラヒット！劇的な展開で三球会は勝利を収めた。お互い投手は好投を見せたが守りが安定せず失点に繋がった。奈多クラブは最終回にそれが連鎖し痛い敗北となった。

（記事、写真：新町パイレーツ 安部貴大）



三球会先発 吉留投手。



奈多クラブ先発 今林瑠生投手。



二塁打を放った今林祐将選手。



マルチヒットの活躍 四番の安部選手。



試合後 既にサンダルに履き替えていました。
サヨナラヒットを放った原口選手。

第5週編集後記

WSLの皆さんこんにちは！

第5週6月1日は4試合が行われました。

青松園Bのブルーマーリンズ対雁ノ巣ライナース戦は、8安打13得点のライナースが鳥越投手もあり、0-13の五回コールドで勝利。今年新加入のライナース竹上捕手と主砲の四番宇野選手に一発が出た。ライナースは過去首位打者最多の6回、HR王3回、打点王4回獲得しているが、盗塁王はまだないので、一二番を組んだ若い明瀬兄弟あたりに狙ってほしい。鳥越投手にも今林貢投手以来の投手部門のタイトルを狙ってほしい。

青松園Aの三苦フレンズ対新町ウインズ戦は、フレンズ一番生野拓磨選手に一発を浴びるなど立ち上がりの悪さを露呈したウインズ先発藤田投手だが、自ら招いたピンチは自ら刈り取るピッチング。終わってみれば2本のHRを浴びたが、10奪三振。初回の同い年ウインズ野田、城戸選手のタイムリーで一気に試合の主導権を握ったウインズ打線は8安打を放ちコンスタントに得点を重ね3-10で勝利。

雁ノ巣軟式3の三苦ホーネッツ対塩浜ジャガーズ戦は、稲葉選手が30代となり、若手枠が一つ空いたため、力を持った20代が活躍できる場が広がった。ホーネッツは得意の先制攻撃で2点を取るもジャガーズも連打で初回を終えるが、そこから自力の差が見え始め、終わってみれば12-2でホーネッツの圧勝。ホーネッツは16人が出場するという理想的な全員攻撃を見せた。ホーネッツ矢野投手が四回から登板し、打者12人に対しパーフェクトリリーフは見事。

雁レク軟式4の奈多クラブ対三苦三球会戦は、こちら両軍初回に2点ずつを取って、次の点をどちらが取るかで試合の優勢が決まるところで、三回に2点を取った奈多クラブであったが、取られた直後に1点でも取り返すという三球会の姿勢が最終回の劇的な逆転サヨナラ劇を生んだ。二死を取られながらもつないだチャンスに三球会九番原口選手が見事に期待に応えたレフト前。試合後の写真もキマッテいました。ベストお笑いショット大賞候補ですね。

さあ、6月に入り梅雨入り宣言も出ました。この時期しめりがちなバットをせっせと振ってしっかり夏に向けて弾みを付けましょう！

博多の町も山笠に向けて動き出しました。